

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：2年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男子は体力合計点が全国、県平均を上回っており、特に長座体前屈の柔軟性、ハンドボール投げの巧緻性、瞬発力に優れている。
- 女子は体力合計点が全国、県平均を大きく上回っており、特に立ち幅跳びの瞬発力、20mシャトルランの全身持久力に優れている。
- 男女ともに50m走のすばやく移動する能力である走力に課題がある。

2 取り組みについての評価

(1) 保健体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・ 苦手な生徒が動く動機付けになるための教材教具の工夫や授業テーマの設定
- ・ 自己やチームの成長、できるようになったことを実感させるための自己評価や振り返りの設定
- ・ 体力向上に向けた毎時間活動時間の割合が70%以上の授業づくり

②改善を図る点

- ・ ICTを効果的に活用した授業内容の作成を行う。
- ・ 各単元の特性に応じた素早い動きを高めるための準備運動や授業内容を行う。
- ・ 生徒が主体的に学習に取り組めるような授業内容や教師の働きかけを行う。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・ 授業を通して「運動をしたい」と思う生徒が全国と比較して少なかったため、保健分野の授業で体育分野とのつながりを理解させていく。
- ・ 運動嫌いを減らすために、運動が苦手な生徒に視点を置いた教材研究を行い、運動の楽しさを実感できる工夫をする。
- ・ 生徒の実態を把握するために、事前事後のアンケートを行う。